

# 大腸内視鏡検査の説明と同意書

(医) 友隣会 協立病院

TEL 072-844-5181

## 大腸内視鏡検査とは

大腸内視鏡検査は太さ約 13mm の内視鏡を肛門より挿入して大腸の内部を観察する検査です。何らかの病変が見つかったとき、組織の一部を鉗子（かんし）でつまんで調べたり、ポリープや腫瘍、粘膜の一部を切除し治療を行うこともあります。また、検査中おなかの痛みが強い場合があり、検査前や検査中に鎮痛剤や鎮静剤の注射を行うこともあります。

## 起こりうる合併症について

1. 穿孔：0.1～0.2%に大腸の穿孔が起こることがあります。特に下腹部の手術や放射線治療を受けたことがある方は、腸の癒着が強いことがあり、注意が必要なので、検査前に必ず申し出てください。
2. 出血：検査後、特にポリープや粘膜の切除を行ったときに、出血が起こることがあります。検査中に起こった場合は、そのまま内視鏡的止血を行います。数日後に出血する場合も、まれにありますので注意が必要です。
3. 検査中の徐脈、血圧上昇あるいは低下など：特に高齢の方や、心臓、血管系の病気のある方などに脈の乱れや、血圧の異常などが認められることがあります。

## 対応

検査中、血圧や脈波を監視しますが、場合によっては検査が中止となったり、点滴などの処置が必要となることがあります。

当院では、万一の上記の合併症出現に対して迅速に対応することを目的に、ポリープを切除した場合には、すくなくとも一泊の経過観察入院をして頂くことになっております。

<input type="radio"/> 患者名  様	検査の実施日  年 月 日	<input type="radio"/> 説明を行った医師 年 月 日
------------------------------------	---------------------	---

## 同意書

私は、担当医師より上記の説明を受け、理解できましたので、その実施を承諾致します。又、実施中に緊急又は予測外の処置をする必要が生じた場合には、適宜処置されることについても承諾致します。

	氏 名	現住所
<input type="radio"/> 本人 (又は法定代理人)	Ⓜ	
<input type="radio"/> 保証人 (近親者の方)	Ⓜ	